

福岡マラソン2021における 新型コロナウイルス感染症予防対策について

(1) 福岡マラソン開催の前提条件

- ① 緊急事態宣言が解除されていること。
 ※緊急事態宣言発令中であっても、緊急事態宣言の要請内容にイベント開催の中止もしくは自粛が含まれていない場合は開催できるものとする。
- ② 新型コロナウイルス感染症に関する診療体制が整っている。緊急時の後方支援病院があること。
- ③ 大会に関わる全ての人(参加ランナー、大会役員、競技役員、ボランティア、メディア、業者など)の連絡先を把握し、健康状態の管理体制が整えられていること。

(2) 対策内容

大会全般	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染症対策にかかる危機管理体制の構築
大会に関わる全ての人 にお願いすること	<ul style="list-style-type: none"> ・大会前後の健康管理の徹底(大会前1週間の体調管理チェックシートの提出、大会後2週間の体調管理) ・新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の利用推奨 ・マスク着用の徹底(ランナーはレース中を除く) ・手指消毒の徹底 ・使用したマスク等のゴミの持ち帰りの徹底
エントリー関連	<ul style="list-style-type: none"> ・国内居住者にエントリーを限定
EXPO会場 スタート会場	<ul style="list-style-type: none"> ・会場入口での検温実施(発熱者は参加不可) ・会場入口など会場内に消毒スプレーを設置 ・EXPO会場はランナー専用とし、一般者は入場させない ・EXPO会場は長時間滞留しないよう呼びかけ ・受付や参加賞渡しには飛沫防止シートを設置 ・スタートの整列ブロックを広げ、可能な限り間隔を確保 ・着替えての来場、更衣室の利用は短時間で済ませるよう呼びかけ
コース上	<ul style="list-style-type: none"> ・給食での提供する物は可能な限り個包装で提供 ・給水給食は手渡ししないで机上で渡すことの徹底 ・給水給食所、仮設トイレなどに消毒スプレーを設置 ・仮設トイレ等の定期的な消毒を実施 ・救護所は利用前に検温、発熱者は飛沫防止シート等で区切ったエリアで処置 ・ボランティア等へのスタッフには従事する業務によりフェイスシールド、使い捨て手袋、防護服等を着用 ・スタート 5.2km フィニッシュ 今宿駅 西都1丁目交差点 フィニッシュ 付近を応援自粛エリアとする。それ以外の場所で応援する場合は「間隔を空ける」「声を出して応援しない」等と呼びかけ
フィニッシュ会場	<ul style="list-style-type: none"> ・完走証をWeb発行に変更 ・完走メダルの廃止 ・「おもてなし会場」はランナー専用とし、一般者は入場させない ・「おもてなし会場」の飲食ブースや休憩スペースは設置しない
シャトルバス 収容バス	<ul style="list-style-type: none"> ・車内は換気を良くして運行 ・乗車時の手指消毒、不必要な会話はしないよう呼びかけ(シャトルバスではマスク着用も) ・乗車前は間隔を空けて並ぶよう呼びかけ

※ 対策内容については、感染症に関する最新情報に基づきながら随時検討を行い、内容を修正しながら、最適な対策を講じてまいります。